

KACE® システム導入アプライアンス ( K2000 ) 4.1  
SP1

リリースノート



# 目次

Quest® KACE® システム導入アプライアンス ( K2000 ) 4.1 SP1 リリースノート.....	3
KACE システム導入アプライアンス ( K2000 ) 4.1 SP1 について.....	3
新機能と強化点.....	3
廃止される機能.....	4
解決済みの問題.....	4
既知の問題.....	6
システム要件.....	10
製品ライセンス.....	11
インストール手順.....	11
アップデートの準備.....	11
通知更新を使用したアプライアンスの更新.....	11
アップデートの手動によるアップロードと適用.....	12
既存の32ビットRSAを64ビットに移行.....	12
その他のリソース.....	13
グローバル化.....	13
当社について.....	13
名前を超える存在.....	13
当社のブランドとビジョンと、ともに.....	14
Questへのお問い合わせ.....	14
テクニカルサポートのリソース.....	14
法的情報.....	14

# Quest® KACE® システム導入アプライアンス ( K2000 ) 4.1 SP1 リリースノート

このリリースノート文書は、Quest KACE システム導入アプライアンス ( K2000 ) バージョン 4.1 SP1 ( 4.1.1148 ) に関する情報を提供します。

## KACE システム導入アプライアンス ( K2000 ) 4.1 SP1 について

KACEシステム導入アプライアンス ( K2000 ) は、イメージのキャプチャと展開を行うためのネットワーク中心のソリューションを提供します。K2000はシームレスなクロスプラットフォームのイメージ処理ソリューションを提供するので、ユーザーは1台の管理コンソールからMicrosoft® Windows®プラットフォームおよびApple® OS X®プラットフォームをプロビジョニングできます。また、ユーザーは1台のデバイスまたは同時に複数のデバイスに、設定ファイル、ユーザープロファイル、およびアプリケーションをイメージとして展開できます。

K2000は、同種および異種の両方のハードウェア環境における展開を自動化するのに必要なツールを提供し、マルチキャスト機能とタスクエンジン機能により、大規模なイメージ展開を高い信頼性で実現できます。ビルトインのドライバフィードにより、デルのドライバモデルが自動的にダウンロードされ、パッケージ管理機能を使用することにより、サードパーティ製のドライバパッケージをアップロードすることもできます。また、K2000をKACEシステム管理アプライアンス ( K1000 ) と統合することでK1000インベントリのイメージを作成することもできます。K2000 は、仮想アプライアンスまたは物理アプライアンスとして使用できます。

KACE システム導入アプライアンス ( K2000 ) バージョン 4.1 SP1 は、複数の改善点が図られ、問題点を解決した製品のサービスパックのリリースです。

## 新機能と強化点

次の新しい機能と拡張機能がこのリリースに組み込まれています。

### 新機能と強化点

機能	問題 ID
新しい iPXE 起動ローダに、起動マネージャログイン機能が追加されました。	ESMEA-2528
バージョン番号はログインページに記載されています。	ESMEA-1815
ライセンスキーは、設定のメンテナンス ページにすべて表示されています。	ESMEA-2488

このリリースでの新しい機能の詳細を確認するには、サポートサイトで利用できるビデオチュートリアルをご覧ください。 <https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/kb?k=what%27s%20new>.

# 廃止される機能

次に示しているのは、KACEシステム導入アプライアンス ( K2000 ) ではサポートされなくなった機能のリストです。

## 廃止される機能

機能	問題 ID
前の RSA はサポートされなくなり、バージョン 4.0 を実行している K2000 では古いバージョンの 32 ビット RSA にデータを同期することはできません。既存の 32 ビット RSA から新しい 64 ビットバージョンにデータを移行するためのツールおよびプロセスを利用いただけます。詳細については、次を参照してください。「 <a href="#">既存の32ビットRSAを64ビットに移行</a> 」	RSA v3.7
Windows® User State Migration ツール ( USMT ) 10 を使用した、USMT 4 ツールでスキャンされたユーザープロファイルの導入はサポートされません。 <b>i</b>   注: USMT 5 のツールは、Windows Media Manager を使用して USMT10 としてアップロードされます。	USMT 4

# 解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

## 解決済みの問題

解決済みの問題	問題 ID
メディアのないドライブ文字 ( 削除可能なドライブ ) に遭遇した場合、get_kuid.vbs スクリプトは失敗しました。	K2-6657
名前にスペースのあるドライブをインストールすると、すべてのドライブのコピーを含む追加のフォルダが残されました。	K2-6653
重複したイメージは割り当てられたタスクを保持しませんでした。	K2-6624
set_kace_path.vbs スクリプトが、USB キー展開で起動設定データ ( BCD ) を見つけた場合、イメージのスクリプトの代わりにそれを変更しました。	K2-6623
誤った変数が使用されているために、K2000 サーバーエラーログでエラーメッセージが繰り返し表示されました。	K2-6617
お客様がベータバージョンを使用している場合は、リモートサイトアプライアンス ( RSA ) によって利用可能なアップデートが検出されませんでした。	K2-6614
以前のバージョンの KACE システム導入アプライアンス ( K2000 ) では、2048 ビットキーではなく 1024 ビットキーが生成されていました。	K2-6612

解決済みの問題	問題 ID
デフォルトのブートアクションがハードドライブで起動に設定されていると、クライアントマシンで iPXE から起動メニューが起動しました。	K2-6579
グラフィックの一時ファイルが大量に残された際に、Munin は更新を停止しました。	K2-6576
アプリケーションのインストール前、中、または後のタスクでコマンドパラメータを入力すると、すべて小文字でパラメータを指定しない場合、タスクエンジンが正しくパラメータを記録しませんでした。	K2-6571
get_kuid.vbs スクリプトは KACE システム管理アプライアンス ( K1000 ) バージョン 7.0 エージェントと動作しませんでした。	K2-6562
DiskPart スクリプトでフォーマットを実行しても、Sysprep を実行済みのイメージについての警告が表示されました。	K2-6560
smbstatus トラブルシューティングツールを実行すると次のようなメッセージが表示されました。smbstatus はルートとしてのみ動作します。	K2-6557
アプライアンスの更新の確認ステータスが更新されませんでした。	K2-6500
Hyper-V をオフボードストレージに変換すると大量のディスクが表示される場合があります。	K2-6499
ファイルのアップロード中、インストールタスクのステータスメッセージが誤って表示されました。	K2-6490
drvstr.cfg で例外の原因となるため、デフォルトではモデル名に小文字を使用できませんでした。	K2-6474
1 つまたは複数の RSA が削除されると、ライブラリサマリで RSA の数が誤って表示されました。	K2-6469
MAC アドレスが自動展開を介して追加されるとノードを編集できませんでした。	K2-6466
KACE システム導入アプライアンス ( K2000 ) が KACE システム管理アプライアンス ( K1000 ) にリンクされると、インベントリのスマートラベルがラベル名ではなく ID ごとにソートされます。	K2-6464
インストール後タスクの join domain により、マシンがドメインに正常に追加されていても、展開ログに failed と誤って記録されました。	K2-6407
Windows 7x86 から取得したオンラインユーザーの状態が Windows 8.1x64 に正常に導入されませんでした。	K2-6405
Windows 10 を展開する際のインストール後のタスクを実行中、Windows エクスプローラーウィンドウが開きました。	K2-6389
スラッシュ (/) が製造元の名前内に含まれる場合、ドライバの導入中に問題が発生しました。	K2-6370

解決済みの問題	問題 ID
Apache に報告された X-KACE-Version がアップグレード後にアップデートされませんでした。	K2-6358
展開ログファイルがワークステーションに書き込まれず、petemp に直接書き込まれてから petemp にコピーされました。	K2-6177
CBC ( 暗号ブロックチェーン ) 暗号が削除されました。	K2-5919
アラートや警告メッセージを閉じたりキャンセルしたりした場合、ダッシュボードページに戻ったとき、またはダッシュボードページを更新したときに、同じメッセージが再表示されました。	K2-5806
一部のタイプのディスクドライブから「改訂」情報が欠損していました。	K2-5552
ドライバのオペレーティングシステムタイプとして Windows 8.1 が記載されていました。	K2-5487
ZIP ファイル内にバッチファイルが含まれているアプリケーション型の事前インストールタスクを実行できませんでした。	K2-4577
管理者コンソールで読み込みアクセス権のみを持ついずれのユーザーが、カスタムの POST アクションをユーザーに送信して、管理者のパスワードを変更することができました。	K2-3879
システムイメージを使用してインポートされたインストール前 / インストール後タスクが、システムイメージの詳細ページに表示されませんでした。	ESMEA-2823

## 既知の問題

次に示しているのは問題の一覧です。これには、サードパーティ製品に属する問題、リリース時点で存在が認識されている問題が含まれます。

### 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
<p>PCIe ( Peripheral Component Interconnect Express ) バスを使用している NVMe ( non-volatile memory express ) により設定されているシステム上で Windows 7 のスクリプト形式のインストールを実行しているとき、次のエラーが発生します。</p> <p>Windows needs the driver for device [Standard NVM Express Controller]</p> <p>この問題は K2000 アプライアンスとは関係がないため、サポートが提供されていません。</p> <p>対策：次の回避方法は、そのままの状態ですべてサポートなしで使用できます。詳細については、次の KB 記事をお読みください。</p> <p><a href="https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/kb/185551">https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/kb/185551</a></p>	Microsoft
<p>4.0 または 4.1 へのアップグレード後に、Windows K-Image または WIM のイメージ キャプチャおよび展開が失敗しました。</p> <p>対策：サポートについては、Quest Support へお問い合わせください。</p>	K2-6670

既知の問題	問題 ID
アップグレード後に、ドライバフィールドの青い矢印アイコンが間違っただけに表示されます。	K2-6664
展開中に、バージョン 4.0 でキャプチャした WIM イメージの USB 展開が失敗します。 対策：詳細については、次の KB 記事をお読みください。 <a href="https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/226991">https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/226991</a>	K2-6590
タイムゾーンを変更した後、進行状況画面は表示されますが、日付/時刻 ページが適切に表示されません。	K2-6582
ハードドライブの名前にスペースがあると、Macイメージがキャプチャできない場合があります。	K2-6580
WIMイメージのキャプチャ中、WIMイメージ用のファイルリストを作成している段階、またはWIMイメージをキャプチャしている段階の間、プログレスインジケータが動きません。	K2-6573
新しいLDAPサーバの作成中、テスト ボタンが適切に機能しません。	K2-6566
一部のモデルは、デバイスの初期化段階の間にフリーズし、UEFI PXE起動時にKBEメニューに到達できません。 <b>i</b> 注: これは、製造元のBIOSバージョンに関する既知の問題です。BIOSバージョンをアップグレードまたはダウングレードすると問題が解決する場合があります。	K2-6552
タスクが既に存在している左側にリストからタスクをドラッグすると、最後のタスクではなく、最初のタスクが割り当てられます。	K2-6540
RSAでオフボードストレージを使用しているとき、MacクライアントマシンがRSAからNetBootで起動できません。	K2-6502
ネットワークアダプタ設定NICが E1000E に設定された状態でESXi 5.xに作成された仮想マシン ( VM ) では、K2000アプライアンスでiPXE ( UEFI用 ) を起動できません。 対策：VMネットワークアダプタ設定NICを E1000 に設定します。	K2-6496
ADK ( Windowsアセスメントおよびデプロイメントキット ) 10を使用して作成されたKBEであるWINPE10から展開するとき、Windows XPのスク립ト形式のインストールが失敗します。 対策：ADK 8.1を使用して作成されたKBE、WINPE5を使用するとWindows XPのスク립ト形式のインストールが正常に導入されます。	K2-6484
Mac OS X 10.11、ASR ( Apple Software Restore ) /Kイメージの導入時にNetBootログイン画面がクライアントマシン上に表示され、起動処理が設定されます。 対策：NetBoot環境でMac OS X 10.11用の前処理手順が完了するまで待機することをお勧めします。完了時にはログイン画面で画面の下部にパスワードボックスとK2000のIPが表示されます。また、導入の進行状況はK2000管理コンソールで監視できます。	K2-6479

これらの処理が完了する前にログインが試行された場合は、K2000イメージングユーティリティがドック上に表示されず、ユーザーがNetBoot環境へと再起動する必要があります。

Windows USMT ( User State Migration Tool ) 5またはUSMT 10を使用するWindows XPユーザープロファイルのスキャンが、K2000サーバ上で間欠的に進行中のままになります。

対策：Windows XPのユーザープロファイルはWindows PEからスキャンできます。これはMicrosoftが推奨する対処方法です。詳細については、<https://social.technet.microsoft.com/Forums/en-US/83ddb84e-d919-4acc-91ca-78d4f1478df1/scanstateexe-from-usmt-50-from-windows-81-adk-fails-on-windows-xp-with-1-is-not-a-valid-win32>を参照してください。

Notepad.exe でのファイルの編集またはレジストリの編集は、K2000 ブート環境 ( KBE ) の回復コンソールで Windows PE 10.0 を使用しているときに正常に動作しません。

MAC イメージが正常に導入された後、進行ステータスが正常に更新されません。

3.7 SP2 アプライアンスで、ログイン情報およびパスワードとして konfig とコンソールで入力し、変更を行おうとすると、リンクアグリゲーションが有効な場合に、リンクアグリゲーション IP が正しくないというエラーが表示され、詳細が表示されます。

対策：リンクアグリゲーションが有効な状態であれば、「ネットワーク設定」ページにアクセスして、ホスト名とIPアドレスを入力します。

「アプライアンスのパフォーマンス」ページに、外部ストレージのディスク使用率が表示されません。

Windows または Mac® のブート環境を FreeBSD 10 ISO から作成した場合、一般設定 > デフォルト K2000 ブート環境 ページにデフォルトでブート環境が設定されません。

K2000アプライアンスからASRイメージがキャプチャされていない場合、インポートされたASRイメージの展開が失敗します。

**i** 注: アプライアンスは、K2000 アプライアンスからキャプチャされた ASR イメージ用に ImageStore ディレクトリを作成します。

対策：petempディレクトリにImageStoreフォルダを作成します。

K-Image内のファイルを編集した後に、保存 をクリックすると、コミット および 元に戻る のオプションが消えて、編集したファイルがイメージファイルブラウザ内に表示されなくなります。

対策：イメージを複製して、コミット および 元に戻る のオプションを表示させ、オリジナルのファイルがイメージファイルブラウザ内に表示されるようにしてください。

10.9.2 Mac® デバイスを NetBoot イメージで起動した場合、アプライアンスのロケール設定が英語以外であると、指定したロケールがキーボードレイアウトに表示されません。

ユーザープロファイルのスキャンタスクが失敗したときに、タスクエラー ページからタスクの再試行を試みると、ステータスに成功と表示されます。しかし実際に



## 既知の問題

## 問題 ID

は、選択したユーザープロファイルはスキャンされておらず、アプライアンスにもアップロードされていません。

対策：タスクエラー ページからターゲットデバイスを再起動した後で、再び KBE からデバイスを起動し、展開を再開します。デバイスを再起動すると、USMTプロファイルデータ用の新しい作業ディレクトリが作成され、プロファイルが正常にキャプチャされるようになります。

x64 および x86 の日本語 Windows® OS の場合、Sysprep 済みの K-Image およびスクリプト形式のインストールの展開中、デバイス名が保持されません。

K2-3170

K2000アプライアンスのライセンスが期限切れになったときに、K2000デバイスインベントリに含まれていないMac®デバイスを起動すると、「ライセンスが限度を超えました」というエラーメッセージがターゲットデバイスに表示されません。ターゲットデバイスが、アプライアンスからの起動を何度も試行します。

K2-2815

## Hyper-Vの既知の問題

### 既知の問題

### 問題 ID

Microsoft Hyper-V®でのアップグレードで適切なディスクパーティションがマウントされない場合があります。

K2-6561

同期が完了したとき、RSAステータスが自動的に更新されません。

K2-6558/  
ESMEA-2896

ダッシュボード ページの ネットワーク使用率 セクションに、Hyper-V® プラットフォームの情報が表示されません。

K2-5902

K2000をHyper-Vプラットフォームで実行すると、「runtime went backwards」というエラーメッセージがHyper-Vコンソールに何度も表示されます。

K2-5843

対策：K2000での修正は必要ありません。このメッセージを無視して、展開を続行しても構いません。

## マルチキャスト展開の既知の問題

### 既知の問題

### 問題 ID

ユニキャストの代わりにマルチキャストを介して、2 つまたは複数のパーティション WIM イメージを展開すると、最初のパーティションのみが展開されます。

K2-5393

対策：この問題で利用できる回避策があります。詳細については、次の KB 記事をお読みください。

<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/kb/212975>

マルチキャストの展開を削除すると、プロセスが終了しません。したがって、新しいマルチキャストの展開を開始できません。

K2-4286


対策：展開のタイムアウト期間を調整します。デフォルトのマルチキャスト展開のタイムアウトは10分です。

エラー発生時にマルチキャスト展開が続行されません。

K2-4180/  
ESMEA-624

対策：マルチキャスト展開をエラー発生時に続行するように設定しないでください。

## リモートサイトアプライアンスの既知の問題

既知の問題	問題 ID
オフボードストレージからオンボードストレージへの逆方向の移行中にRSAを再起動すると、RSAにアクセスできなくなります。   注: データロスを防ぐには、RSA データを別の場所またはデバイスにエクスポートします。逆方向の移行が完了するまで、RSA の電源を切ったり再起動したりしないでください。	K2-3775/ ESMEA-3168
メディアをRSAにアップロードしようとする時、メディアマネージャに次のエラーメッセージが表示されます。「無効な応答です。指定したホスト名を確認してください。」 対策: ホスト名またはIPアドレスがK2000 ( RSAではない ) のホスト名またはIPアドレスであることを確認してください。	K2-3290
リンク先アプライアンスを切り替えると、管理コンソールの右上隅にあるドロップダウンリストに、シングルサインオン ( SSO ) を使用して K2000 からログインしたすべてのアプライアンスではなく、リンク先アプライアンスのみが表示されます。	K2-3241

## スクリプト形式のインストールの既知の問題

既知の問題	問題 ID
Windows 10 64ビットのスクリプト形式のインストールで、実際には存在するのに、ブート環境が利用できると表示されません。	K2-6371

## メディアマネージャの既知の問題

既知の問題	問題 ID
メディアマネージャを南米スペイン語からダウンロードすると、K2000アプライアンスで、MSIインストーラおよびショートカットアイコンのメディアマネージャの製品名がスペイン ( スペイン語 ) で表示されます。	K2-5585

# システム要件

K2000 4.1 SP1 をインストールするために必要な最小バージョンは 4.1.182 ( バージョン 4.1 ) です。アプライアンスが以前のバージョンを実行している場合は、このメジャーリリースをインストールする前に記載されているバージョンにアップデートし、アップデートをインストールした後でアプライアンスを再起動する必要があります。アプライアンスのバージョン番号を確認するには、KACEシステム導入アプライアンス管理コンソールにログインし、ウィンドウの左下にある K2000について をクリックします。

バージョン 4.1 SP1にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、K2000 の技術仕様で確認できます。

- 物理アプライアンスの場合 : <https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/4.1.182/technical-documents> に移動します。
- 仮想アプライアンスの場合 : <https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/4.1.182/technical-documents> に移動します。

# 製品ライセンス

現在 K2000 の製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めて K2000 をお使いになる場合は、アプライアンスの『セットアップガイド』で製品ライセンスの詳細をご確認ください。「[その他のリソース](#)」に移動して、適切なガイドにアクセスします。



注: バージョン 4.1 SP1 の製品ライセンスは、バージョン 4.1 SP1 以降を実行する K2000 アプライアンスでのみ使用できます。バージョン 4.1 SP1 のライセンスは、4.0 など K2000 の以前のバージョンを実行するアプライアンスでは使用できません。

## インストール手順

アプライアンスを更新するには、通知更新を使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードします。

## アップデートの準備

K2000 アプライアンスを更新する前に、次の要件を満たしていることを確認します。

- 現在のバージョン: K2000 4.1 SP1 をインストールするために必要な最小バージョンは 4.1.182 (バージョン 4.1) です。アプライアンスのバージョン番号を確認するには、K2000 にログインし、ウィンドウの左下にある K2000 について をクリックします。以前のバージョンのアプライアンスをお使いの場合は、4.1 SP1 のインストールを行う前に、記載されているバージョンにアップデートする必要があります。
- ディスク領域: K2000 アプライアンスでは 20 % 以上の空きディスク領域が必要になります。物理アプライアンスでは、このディスク領域はアプライアンスのメインドライブに確保する必要があります。

その他の推奨事項:

- 十分な時間の確保: 150 MB を超えるようなサイズが大きいデータベースの場合、更新プロセスに数時間かかる可能性があります。
- 開始前のバックアップ: 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、K2000 アプライアンスのすべてのアイテムをエクスポートします。
  - [K2000 Backup Best Practices \( K2000 バックアップのベストプラクティス \)](#)
  - [How to back up a K2000 appliance \( K2000 アプライアンスをバックアップする方法 \)](#)
- SSHの有効化: K2000管理コンソールの「セキュリティ設定」セクションで、SSHを有効にします。
- K2000 サーバの再起動: アプライアンスのメンテナンス 設定ページで、アップデートする前に K2000 サーバを再起動します。

## 通知更新を使用したアプライアンスの更新

アプライアンスを更新するには、アプライアンスの「ダッシュボード」ページまたは管理コンソールの「アプライアンスのメンテナンス」ページで通知される更新プログラムを使用してください。

注意: アップデート中は、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

1. 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、K2000 アプライアンスのすべてのアイテムをエクスポートします。
  - [K2000 Backup Best Practices \( K2000 バックアップのベストプラクティス \)](#)
  - [How to back up a K2000 appliance \( K2000 アプライアンスをバックアップする方法 \)](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、設定 をクリックしてセクションを展開し、次に アプライアンスのメンテナンス をクリックして「アプライアンスのメンテナンス」ページを表示します。ページの下部までスクロールし、再起動 をクリックします。確認 ダイアログで はい をクリックしてサーバを再起動します。
3. 左側のナビゲーションバーで、設定 をクリックしてメニューを展開し、次に アプライアンスのメンテナンス をクリックして「アプライアンスのメンテナンス」ページを表示します。
4. 更新の適用 をクリックしてアップグレードプロセスを開始します。

アプライアンスのアップデートに必要な時間は K2000 にあるコンテンツによって異なります。手動でアプライアンスをハードシャットダウンしないでください。また、アプライアンスはアップグレードプロセス実行中に、完了するまで自動的に ( 数回の可能性あり ) 再起動します。
5. サーバ更新の確認 をクリックします。

アップグレードが完了すると、アプライアンスは自動的に再起動します。

## アップデートの手動によるアップロードと適用

Quest KACEでアップデートが公開されている場合、ファイルを手動でアップロードして、アプライアンスを更新できます。

注意: アップデート中は、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

1. 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、K2000 アプライアンスのすべてのアイテムをエクスポートします。
  - [K2000 Backup Best Practices \( K2000 バックアップのベストプラクティス \)](#)
  - [How to back up a K2000 appliance \( K2000 アプライアンスをバックアップする方法 \)](#)
2. ログイン資格情報を使用して、Quest Web サイト ( <https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/4.1.182/download-new-releases> ) にログインし、K2000 サーバ 4.1 SP1 の更新ファイルをダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 管理コンソールにログインします。
4. 左側のナビゲーションバーで、設定 をクリックしてセクションを展開し、次に アプライアンスのメンテナンス をクリックして「アプライアンスのメンテナンス」ページを表示します。
5. K2000アプライアンスの更新 > 手動更新 で、参照 をクリックして更新ファイルを選択し、開く をクリックします。
6. サーバのアップデート をクリックします。

アプライアンスのアップデートに必要な時間は K2000 にあるコンテンツによって異なります。手動でアプライアンスをハードシャットダウンしないでください。また、アプライアンスはアップグレードプロセス実行中に、完了するまで自動的に ( 数回の可能性あり ) 再起動します。

## 既存の32ビットRSAを64ビットに移行

バージョン 4.0 以降、RSA は 64 ビットの仮想アプライアンスになります。

これより前のバージョンでは、32ビットの仮想アプライアンスでした。32ビットのRSA上の既存のデータは、新しい64ビットのRSAに移行できます。詳細については、<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/kb/211383> にアクセスしてください。

## その他のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント (<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents#K>)
  - 外部 I/O 接続リファレンス：<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/4.1.182/technical-documents> に移動します。
  - 技術仕様：製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています。  
物理アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/4.1.182/technical-documents> に移動します。  
仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/4.1.182/technical-documents> に移動します。
  - 管理者ガイド：アプライアンスのセットアップと使用の手順です。<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/4.1.182/technical-documents> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

## グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報（北米以外のお客様が必要とする情報など）を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースでは、あらゆるシングルバイトまたはマルチバイト文字列をサポートします。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があり、また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、以下の言語のローカライズ版が用意されています：フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語。

## 当社について

### 名前を超える存在

当社は情報技術をより促進するための探求をしています。IT管理の時間を短縮し、ビジネス革新に時間を費やせるようにするために、コミュニティ主導のソフトウェアソリューションを構築しています。データセンターのモダナイゼーション、クラウドへの素早いアクセス、データ駆動型ビジネスを成長させるために必要な専門知識、セキュリティ、およびアクセシビリティの提供をサポートします。革新の一部となるグローバルコミュニティへのQuestの促進と、顧客満足度を確実にするための当社のコミットメントを組み合わせることで、当社のお客様に真のインパクトを与え、誇りとなるレガシーを残すソリューションを提供し続けます。当社は新しいソフトウェア企業に変化していくことで現状に挑戦しています。お客様のパートナーとして、情報技術が、お客様のために、そしてお客様により設計されるよう、継続して取り組み続けます。それこそが当社のミッションであり、

一体となりこのミッションに取り組んでいます。新しいQuestによろこそ。当社とともに革新を促進させましょう。

## 当社のブランドとビジョンと、ともに

当社のロゴは、革新、コミュニティ、サポートという当社のストーリーを反映しています。このストーリーの重要な部分は、「Q」で始まります。これは技術的な精度と強度へのコミットを表している完全な円です。Qの空間は、コミュニティと新しいQuestに欠けている部分、つまりお客様に参加していただく当社の必要性を象徴しています。

## Questへのお問い合わせ

セールスまたはその他のお問い合わせについては、<https://www.quest.com/jp-ja/company/contact-us.aspx>を参照するか、1-949-754-8000までお電話ください。

## テクニカルサポートのリソース

サポートポータルは、問題を迅速に自身で解決するのに使用できるセルフヘルプツールを提供しており、毎日24時間アクセスできます。このサイトでは、以下の操作を実行できます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

## 法的情報

Copyright 2017 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE

POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept




4 Polaris Way

Aliso Viejo, CA 92656

Trademarks

Quest, KACE, and the Quest logo are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. in the U.S.A. and other countries. For a complete list of Quest Software trademarks, please visit our website at <https://www.quest.com/jp-ja/legal/>. All other trademarks, servicemarks, registered trademarks, and registered servicemarks are the property of their respective owners.

凡例

-  **注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータ損失につながる可能性があることを示します。
-  **警告:** 警告アイコンは、物的損害、人身傷害、または死亡事故につながるおそれがあることを示します。
-  **重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、補足情報を表しています。

KACEシステム導入アプライアンス ( K2000 ) リリースノート

更新日 - 2017 年 5 月

ソフトウェアバージョン - 4.1 SP1